

会 議 録

| | |
|----------------|--|
| 会議の名称 | 平成30年度第2回坂戸市健康なまちづくり審議会 |
| 開催日時 | 平成30年10月3日 13:30～15:20 |
| 開催場所 | 坂戸市役所 303・304 会議室 |
| 会長の氏名 | 金子 嘉徳 |
| 出席者（委員）の氏名・出席者 | 清水 要 川崎 剛 山王丸 靖子 金子 嘉徳 真殿 仁美 重松 博 亀田 康好 弓削多 洋一 小田島 京子 青木 繁 計10名 |
| 欠席者（委員）の氏名・欠席者 | 太田 正久 田中 久子 松本 勝 計3名 |
| 傍聴者数 | 1名 |
| 事務局職員の職・氏名 | 市民健康部長 細野 英也 次長兼市民生活課長 楠本 圭司 市民生活課副課長 福島 隆明 市民生活課健康政策担当課長補佐 片野 恵理 市民生活課健康政策担当主任 佐藤 千絵 市民健康部副参与兼市民健康センター所長 関口 万須美 市民健康センター成人保健担当係長 戸谷 敬子 |
| 会議次第 | 1 開会 2 挨拶 3 審議事項 （1）市民アンケート調査の報告について （2）計画骨子案について （3）その他 4 閉会 |
| 配布資料 | 資料1-1 こころとからだの健康に関する市民アンケート調査報告書 資料1-2 高齢者・障害者福祉施設等における口腔ケアに関するアンケート調査結果 資料2-1 第2次坂戸市健康なまちづくり計画中間年次改訂版（骨子案）目次対比表 資料2-2 第2次坂戸市健康なまちづくり計画中間年次改訂版（骨子案） 資料3 平成29年度健康なまちづくり計画に関連する事業の評価割合 |
| | 議事の経過 |
| 発言者 | 議題・発言内容・決定事項 |
| 事務局 | 平成30年度第2回坂戸市健康なまちづくり審議会を開会します。（出席者10名、欠席者3名、坂戸市健康なまちづくり審議会条例第6条第2項の規定により会議は成立） |
| 事務局 | 審議事項（1）説明 |
| 会長 | 何か質問がありますか。 |

| | |
|-------|---|
| 委 員 | 回収率は 45.8%ですが、客観的にみてどうですか。 |
| 事 務 局 | 役所が実施するアンケート調査は 50%前後です。統計学上でみても、ほしいサンプル数は得られました。 |
| 委 員 | 全体的に良いほうに傾いた数字がでてるように見受けられますが。 |
| 事 務 局 | 今後、年代別のクロス集計を行い、設問ごとにどのような傾向があるか検証し、示します。 |
| 委 員 | 対象者の抽出は、バランスをとっているのですか。 |
| 事 務 局 | 年代ごとに 150 人ずつ抽出していますが、高齢者の回答は多くなるのが見込まれるため、若干配布数を少なくしています。 |
| 委 員 | 資料 1-2 は、具体的にどのような方が回答していますか。 |
| 事 務 局 | 施設の管理者が回答しています。 |
| 委 員 | こちらに関しても全体的にあまい数字が出ているように見受けられます。高齢者や障害者の口腔ケアは本当に大変ですが、回答をみると良いほうに偏りすぎているように感じます。また、アンケート報告書の歯周病についての項目も指摘されたことがない人の割合が多すぎると思います。 |
| 委 員 | 今後、データの解釈を丁寧に行うべきです。 |
| 事 務 局 | これからクロス集計等を通してみていきます。 |
| 委 員 | 資料 1-2 はどのような施設に調査依頼をしていますか。 |
| 事 務 局 | 特養や老健などの入所施設です。 |
| 委 員 | 資料 1 の問 13 での食事の適切な量とありますが、何か事例はだしていますか。 |
| 事 務 局 | 問 9 の下段に参考として掲載しています。 |
| 委 員 | 市では他市町村と何か取り組んでいることはありますか。 |
| 事 務 局 | 今のところありません。 |
| 委 員 | 今回の結果のなかで、良い結果がでたものは、市が女子栄養大学と提携していることによるものがありますか。 |
| 事 務 局 | 市は平成 18 年から、大学と提携し葉酸プロジェクトをはじめ様々な取組を実施してきました。それらの取組が影響していると思います。 |
| 委 員 | 20 歳代の集計結果は大事だと思います。この先の 5 年は、20 歳代の半分以上は女子栄養大学が実施している食育プログラムを受けている方が増加するでしょう。 |
| 事 務 局 | 20 歳代の回答が 39 名おり、居住年数とのクロス集計を行い分析します。 |
| 委 員 | 居住年数よりも坂戸市で小中学校を卒業したかを問うほうがよいのではないのでしょうか。 |
| 事 務 局 | 次回のアンケート時に参考にさせていただきます。 |
| 事 務 局 | 審議事項（2）説明 |
| 委 員 | 計画の広報活動はどうしていくのですか。 |
| 事 務 局 | 主に計画書の概要版やインターネットを中心に考えています。また、シティプロモーションの展開なども含めて考慮していくのが、今後の課題だと認識しています。 |
| 委 員 | 若年層が何を使って情報を得ているかを検証するのも大切かと思いま |

| | | |
|---|---|----|
| | | す。 |
| 事 | 務 | 局 |
| 委 | 員 | 員 |
| 委 | 員 | 員 |
| 事 | 務 | 局 |
| 委 | 員 | 員 |
| 事 | 務 | 局 |
| 会 | 長 | 長 |
| 事 | 務 | 局 |

現在、市では SNS を使った発信も考えています。

成人の歯科検診の機会を増やして欲しいです。あまりにも機会が少なすぎます。

諸外国と比較すると日本は検診の機会が少ないですが、目標値を設定するにあたって難しい部分もあります。目標値が高すぎると、市の予算がパンクしてしまいます。

民間事業者と連携包括協定が築けました。健康や自殺対策のポスターやチラシなどをそちらに設置し、周知を図っていくことを考えています。

広報活動にはタイミングも大事だと思います。例えば、有名人が取り上げたりすると情報の受け手側は気になるので、そのようなタイミングで情報を発信すると良いと思います。

情報によって問い合わせや検診の申込が増えたりします。広報紙だとタイムラグが生じてしまうので、情報のタイミングが大事なものについてはインターネットを活用していきたいと考えます。

予算が限られているので、今後の施策等の進め方は工夫していくことが大切になってくるかと思います。

以上で、本日の審議事項は全て終了したので、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。

長時間ありがとうございました。以上をもちまして第2回坂戸市健康なまちづくり審議会を閉会します。ありがとうございました。